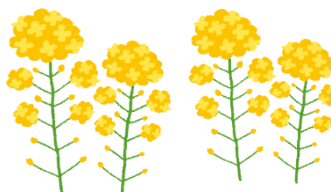


# 2026. 4 北房図書館 だより



2026.4.1 発行

回覧

新年度が始まりました。環境が変わる方もそうでない方も、きっと新鮮な気持ちになっていることでしょう。北房図書館にて季節の本や新しい本をそろえてお待ちしております。

2026年 こどもの読書週間 全館イベント

**ジテンで  
お推(押)し活(か)べったん**

こどもの読書週間  
**4.23(木) ~ 5.12(火)**

ほんをかりて さんか  
本をかりて参加しよう!

真庭市立図書館全館で開催  
ジテンスタンプを  
ポンッと押して、  
オリジナルしおりを  
つくっちゃおう!

各館の研修室のスタンプをチェックしてみてください

主催:真庭市立図書館  
お問い合わせ:真庭市立中央図書館  
TEL 0867-44-2012

3/14~24に「本のリサイクルフェア」を開催しました。今回は長めの開催期間だったので、再度別日に来場されたり、他の行事への参加後に見に来てくださったりと、たくさん本を持ち帰っていただきました。次回の日時は未定ですが、R8年度中に児童書メインのものを開催する予定です。お楽しみに~

リサイクルフェアの様子



**今月のブックるん運行日**

4/15(水)

13:45~14:15 旧阿口小学校  
15:05~15:35 旧水田小学校  
15:50~16:20 美川っ子

**北房図書館**

〒716-1411 真庭市上水田 3131  
TEL: 0866-52-5220  
メール: toshokan\_hb@city.maniwa.lg.jp  
休館日: 毎週月曜日、年末年始  
開館時間: 9:00~18:00

グレーは休館日 図書館カレンダー-4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

定例行事&新着図書は裏面へ



## 定例行事

北房古典を楽しむ会

『平家物語』と『万葉集』

場所：北房文化センター

古典の世界をみなさんで楽しみましょう。

4/9・23 (木)

『平家物語』 10:00~11:30

『万葉集』 11:45~12:30

もく どく かい  
黙読会 + プラス朗読



日時：4/12 (日) 10:00~

場所：北房文化センター

持ち物：読みたい本(小説・絵本何でもOK!)

内容：自分の持ってきた本をひたすら黙読し、  
気に入っている箇所を朗読する会です。

※予約不要です。

えほんの読み聞かせスマイルキッズは4/12(日)10時30分~北房図書館にて開催します。



## 新着図書案内

分類		書名	著者等	出版社
人生訓	159	なりたい自分になる!100の新習慣		日経 BP
歴史	222	イスラームが動かした中国史	海野 典子	中央公論新社
旅行ガイド	291	★気ままに楽しく!大人の女ひとり旅	門賀 美央子	清流出版
		ドライブ関西中国四国ベスト、沖縄'27、北海道'27		昭文社
料理	596	大原千鶴のすやすやレシピ	大原 千鶴	世界文化社
		海苔弁 31	藤井 恵	誠文堂新光社
小説	F	サチコ	群 ようこ	幻冬舎
		沈黙と爆弾	吉良 信吾	小学館
旅行記	915	今日もぼーっと行ってきます	中島 京子	KADOKAWA
手記	916	★高校に行かないと決めた 14 歳の日から	七井 マリ	文芸社
YA文学	949	世界の終わりが来るまえに	アンナ・ウォルツ	フレーベル館
あそび	594	100円ショップでそろろう!かんたんかわいい手芸 BOOK	チョコレートほか	ポプラ社
	754	5回で折れるゆめがいっぱい!おりがみ	いしかわ まりこ	汐文社
えほん	E	だれでもどうぞ	内田 麟太郎	童心社
	E	ふわりさんのパンやさん	宮野 聡子	世界文化ワンダーG
	E	どらごんごんどら	たちばな はるか	偕成社
よみもの	913	わかったさんのマシュマロ	永井 郁子	あかね書房

気になる本、探している本などはお気軽にカウンターまでお尋ねください!

### ★Pickup★『気ままに楽しく!大人の女ひとり旅』

著者：門賀 美央子 出版：清流出版

自分だけの「旅」を見つけませんか?

ひとり旅のベテランである著者が、女ひとり旅の注意点や計画づくりのコツ、旅を快適にするちょっとした工夫など、これまで培ってきた旅のノウハウを、素敵な思い出とともに紹介します。



Toolii より抜粋

### ★Pickup★『高校に行かないと決めた 14 歳の日から』

著者：七井 マリ 出版：文芸社

幼い頃から集団行動や同調圧力に違和感を抱いていた著者は、中学卒業後の進路として「高校に進学しない」ことを自ら選択、独学で大検に挑み、15歳で合格した。オーストラリア在住のエッセイストが、自身の半生を綴る。



Toolii より抜粋